

第1 事業の概要

豪雨や地震等の自然災害による被害の様相は頻発化、そして激甚化の傾向にあり、日本国内のみならず、世界的に被害が発生している。被害を少なくするかどうかは人による対策にかかっているところもあるが、自然災害をはじめ各種災害事象の変化によって、それぞれがきめ細やかな防災対応を講じることが求められてきていることから、防災への関心を常日頃から持ち続けられる活動を推し進めたところである。

一方、新型コロナウイルス感染症が確認されて以降、様々な制限のもとに事業を展開してきたが、With コロナの対応が進み日常生活を取り戻す動きに合わせ、引き続き感染拡大防止対策を徹底しながら今後の事業展開が広がる策を講じ、業務を遂行してきた。

公益目的事業である「防火防災思想及び応急手当の普及啓発、知識技術の育成指導及び教育研修の実施に関する事業」においては、各種体験や講習について、新たな実施場所の拡充を進めたほか、質の向上を図り、未来を見据えた広報活動も展開し、各種事業の実効性をより高めることに取り組んだ。

収益事業の「防災物品等の普及促進に関する事業」においては、防災物品、住宅用消火器の販売や老朽化した消火器の回収を行った。

第2 事業の内容

1 防火防災思想及び応急手当の普及啓発、知識技術の育成指導及び教育研修の実施に関する事業

(1) 防災意識の普及及び広報に関する事業

ア 防火防災訓練等体験指導

市民の防災意識を高め、災害に対する知識及び技術の普及を行い被害の軽減を図るため、防災訓練を実施する自治会や自主防災会及び消防訓練を実施する事業所等の要請に応じ、防災普及車で、よりリアルに再現された地震体験やVR(Virtual Reality)映像で仮想空間の疑似体験をプラスした地震体験のほか、煙体験ハウスや訓練用水消火器などの資機材を活用し、実効性のある訓練体験指導を実施した。

これまで新型コロナウイルス感染症の影響で訓練等を控える団体が多くあることを踏まえ、過去に出向実績のある団体や、敷地面積に余裕のある事業所等に対する広報による利用促進に努めた。

なお、社会状況の変化とともに、自治会や自主防災会をはじめ、訓練等を再開する動きが見られたところである。

項目	出向件数	参加者数
訓練等体験指導	295 件	12,550 人

※ キャンセル件数 44 件

中止件数 26 件

種別	実施回数	体験者数
消火器取扱要領	110 回	2,230 人
天ぷら油発火実験	28 回	1,042 人
応急手当要領	27 回	529 人
防災講話	45 回	1,854 人
地震体験	267 回	7,750 人
煙体験	82 回	3,604 人
119 番通報体験	19 回	535 人

イ 防災啓発 DVD の貸出

自主防災会の防災訓練や事業所における防災教育等で有効的に活用してもらえるよう防災啓発 DVD の貸出を無料で行った。

また、様々な市民ニーズに応じて、新たに地震・風水害関係の DVD を 3 本追加し、ラインナップの充実を図った。

項目	貸出件数	貸出本数
防災啓発 DVD の貸出	100 件	208 本

ウ 防災イベントの実施

小学生とその保護者を対象とし、防災クイズを織り交ぜながら体験する「おやこで学ぶ防災体験」や、自助・共助の重要性を啓発する目的とし、自主防災組織等で保有している資機材を活用した体験等もできる「地域で守る！防災体験」、各区の公共施設や千葉市消防局救助救急センター敷地内で「気軽に防災体験」を実施した。

(7) おやこで学ぶ防災体験

実施場所	回数	参加者数	参加組数	実施内容
千葉市消防局救助救急センター	2 回	33 人	12 組	消火器取扱要領・天ぷら油発火実験・応急手当要領・地震体験・煙体験・防災物品の展示及び防災クイズ

(4) 地域で守る！防災体験

実施場所	回数	参加者数	実施内容
椎名公民館	2 回	13 人	消火器取扱要領・天ぷら油発火実験・応急手当要領・防災講話・地震体験・煙体験・防災物品の展示及び救出救護要領
千葉市消防局救助救急センター	1 回	10 人	

(ウ) 気軽に防災体験

実施場所	回数	参加者数	実施内容
千葉市役所	2 回	31 人	地震体験
蘇我コミュニティセンター	2 回	162 人	地震体験・消火器取扱要領
畑コミュニティセンター	2 回	96 人	地震体験・消火器取扱要領
花島コミュニティセンター	2 回	69 人	地震体験・消火器取扱要領
穴川コミュニティセンター	2 回	128 人	地震体験・消火器取扱要領・応急手当要領
都賀コミュニティセンター	1 回	18 人	地震体験・消火器取扱要領
鎌取コミュニティセンター	2 回	237 人	地震体験・消火器取扱要領・煙体験
高洲コミュニティセンター	1 回	44 人	地震体験・煙体験
真砂コミュニティセンター	2 回	103 人	地震体験・消火器取扱要領・煙体験
稲浜ショップ	2 回	59 人	地震体験
県立幕張海浜公園	1 回	178 人	地震体験
千葉市消防局救助救急センター	56 回	985 人	地震体験・消火器取扱要領・煙体験
合 計	75 回	2,110 人	

(2) 行政機関の行う防災施策に対する協力に関する事業

ア イベント等への支援協力

行政機関からの要請に応じ、その実施するイベントに支援協力した。

種別	協力回数	支援内容
出初式	1 回	防災物品展示
九都県市合同防災訓練	1 回	地震体験
千葉市消防局（市民見学会）	1 回	地震体験
稲毛署消防フェア	1 回	地震体験・天ぷら油発火実験
千葉市内区民まつり	2 回	地震体験
千葉市後援イベント	2 回	地震体験・煙体験
合 計	8 回	

イ 市民への表彰に伴う記念品の授与

市民が対応した初期消火活動や救命活動等の案件に対し、消防の表彰に合わせて公社から記念品の授与を行った。

種別	件数	個数
個人表彰	13 件	44 個
団体表彰	2 件	2 個

ウ 備蓄食糧・資機材の整備

異常気象及び地震時等において、関係機関からの要請に即応できるよう保存食及び保存水の消費期限を踏まえ更新するとともに、衛生用品を整備した。

種別	品目数	補充数量
保存食	3 品目	1,070 食
保存水	1 品目	360 本
衛生用品	4 品目	1,266 個

(3) 防火管理体制等の教育指導講習等の事業

ア 防火管理体制の教育指導講習

消防法に基づく自衛消防組織の統括管理者等を対象とした自衛消防業務講習、防火対象物における防火管理上必要な事項について定期点検及び結果報告をするために必要となる防火対象物点検資格者講習を実施した。

講習名	実施回数	受講者数
自衛消防業務新規講習	16 回	420 人
自衛消防業務再講習	10 回	303 人
防火対象物点検資格者講習	1 回	40 人
防火対象物点検資格者再講習	1 回	68 人

イ 防火管理講習等

消防法で定められた防火対象物において防火管理業務を実施するのに必要な資格を取得するための防火管理講習や、防災管理上業務を実施するのに必要な資格を取得するための防災管理講習、千葉市火災予防条例に基づく防火管理者等実務講習及び自衛消防技術講習を実施した。

同一の講義内容である防火管理再講習と防火管理者等実務講習を同時開催として実施することで受講しやすい環境を整えた。

講習名	実施回数	受講者数
甲種防火管理新規講習	15 回	1,341 人
乙種防火管理講習		163 人
甲種防火管理再講習	7 回	561 人
防火管理者等実務講習		142 人
防災管理新規講習	2 回	102 人
防火・防災管理新規講習	3 回	322 人
防火・防災管理再講習	2 回	208 人
自衛消防技術講習	2 回	11 人

ウ 防災実務研修

災害時における事業所の被害を最小限に止めることができるよう、市内の事業所で働く従業員等を対象に、市消防総合センターにおいて、実際の設備を活用しながら、消火や通報、避難等の要領について習得するための防災実務研修を実施した。

防火管理の概要や消防訓練の必要性についての講義を内容に加えることにより、研修の実効性向上を図った。

研修名	実施回数	受講者数
防災実務研修	6 回	140 人

エ 防火管理講習等用教材の頒布

防火管理講習等の受講者に対し、受講に必要なテキストを有償で頒布した。

頒布物	種類数	頒布冊数
防火管理講習等用テキスト	5 種	5, 049 冊

(4) 応急手当の普及啓発及び知識技能の向上に関する事業

ア 救命講習

JRC 蘇生ガイドラインに基づき、心肺蘇生法をはじめ AED の取扱要領や止血法等の救命処置を習得する救命講習を、市民への公募で実施したほか、事業所等の団体からの要請に応じ市内各所に出向して指導を行った。

また、市民の受講の利便性を向上をさせるため、コミュニティセンターや公民館の公共施設と連携した講習を開催した。

講習名		区分	実施回数	受講者数
普通救命講習	普通救命講習Ⅰ	出向	226 回	3,082 人
		公募	93 回	1,079 人
	普通救命講習Ⅲ	出向	49 回	615 人
		公募	4 回	57 人
	応急手当 WEB 講習	出向	27 回	466 人
		公募	15 回	129 人
上級救命講習			20 回	467 人
上級救命再講習			22 回	343 人
初級救命講習参加証の交付（その他救命講習）			53 回	465 人

※ キャンセル件数 普通救命講習（出向） 36 件

イ 応急手当の普及

三角巾を使用した外傷手当を中心に 2 時間で学べるけがの手当教室と、小さな子どもがいる保護者を対象として、乳児に対する心肺蘇生法と異物除去法を 45 分で学べるパパ&ママ救命教室を実施した。

このうちパパ&ママ救命教室では、より気軽に参加できるよう千葉市内 4 区に会場を設置した。

講座名	実施回数	参加者数
けがの手当教室	3 回	29 人
パパ&ママ救命教室	14 回	151 人

ウ 救命講習等用教材の頒布

上級救命講習及びけがの手当教室の受講者で希望する者に対し、受講に必要な三角巾等の教材を有償で頒布した。

頒布物	種類数	頒布個数
救命講習用教材	2 品目	1,410 個

2 防災物品等の普及促進に関する事業

住宅火災や自然災害による被害を軽減するための備えの必要性を広く普及啓発し、家庭向けの住宅用消火器や非常食等の各種防災物品ほか、廃消火器リサイクルシステムの特設窓口として家庭にある老朽化消火器の回収を行った。

また、過去の防災物品等の購入者に対し、住宅用消火器の耐用年数や賞味期限の到来案内を行い、リピーターの確保に努めたほか、市民がすぐに非常食を入手できるよう、バラ売りやオリジナルセットを公社窓口だけでなく訓練出向時においても販売した。

項目	販売・回収数
住宅用消火器の販売	326 本
住宅用火災警報器の販売	2 個
老朽化消火器の回収	488 本
応急手当処置用品の販売	518 個
防災物品等の販売	848 個

3 運営管理

(1) 評議員会及び理事会の開催

ア 評議員会の開催

開催日	開催状況	議事事項
令和4年 6月7日	令和4年度 第1回臨時評議員会 (決議の省略による方法)	議案第1号 理事の選任について
令和4年 6月29日	令和4年度 定時評議員会	議案第1号 議事録署名人の選出について 議案第2号 令和3年度事業報告及び決算について 議案第3号 監事の報酬額について 議案第4号 評議員の選任について
令和4年 12月16日	令和4年度 第2回臨時評議員会 (決議の省略による方法)	議案第1号 役員の報酬等及び旅費並びに評議員の報酬に関する規程の一部改正について

イ 理事会の開催

開催日	開催状況	議事事項
令和4年 5月25日	令和4年度 第1回通常理事会	議案第1号 令和3年度事業報告及び決算について 議案第2号 令和4年度第1回臨時評議員会の招集について 議案第3号 令和4年度定時評議員会の招集について
令和4年 6月29日	令和4年度 第1回臨時理事会 (決議の省略による方法)	議案第1号 常務理事の選定について
令和4年 7月1日	令和4年度 第2回臨時理事会 (決議の省略による方法)	議案第1号 理事長（代表理事）及び常務理事の選定について 議案第2号 事務局長の任免について
令和4年 12月7日	令和4年度 第3回臨時理事会 (決議の省略による方法)	議案第1号 令和4年度第2回臨時評議員会の審議事項の決定について
令和5年 3月24日	令和4年度 第2回通常理事会	議案第1号 令和5年度事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類について 議案第2号 公益財団法人千葉市防災普及公社就業規程の一部改正について 議案第3号 公益財団法人千葉市防災普及公社職員給与規程の一部改正について 議案第4号 公益財団法人千葉市防災普及公社組織規程の一部改正について

		議案第 5 号 公益財団法人千葉市防災普及公社職員退職手当支給に関する規程の一部改正について 議案第 6 号 公益財団法人千葉市防災普及公社有期雇用職員就業規程に一部改正について
--	--	---

(2) 監事による監査の実施

ア 期中監査

令和 4 年 10 月 24 日

令和 5 年 1 月 16 日

令和 5 年 3 月 22 日

イ 期末監査

令和 5 年 5 月 22 日